

令和元年12月12日

名古屋四日市国際港湾株式会社

サイゴンニューポート始めベトナムへの訪問について

令和元年12月3日、弊社は名古屋港管理組合とともに、東南アジア航路の維持・拡充を目的とし、将来の貨物量増加の可能性を探るため、我が国産業にとっての生産・消費の両方の拠点として存在感が高まるベトナムを訪問し、同国南部のホーチミン近郊の港を開発管理するサイゴンニューポート（SNP）本社にて、QUY副社長を始め、経営陣の皆様のご歓迎を受け、有意義な意見交換をいたしました。

QUY副社長からは現地の港湾事情の説明を受け、日本市場及び名古屋港の重要性を認識していただきました。



（写真）左から2番目より右に順に弊社佐藤社長、服部専任副管理者（名古屋港管理組合）、QUY副社長（SNP社）、栗田社長（TCIT社）

同日、弊社代表取締役社長の佐藤と名古屋港管理組合服部専任副管理者は、ベトナム最大の経済拠点であるホーチミン市周辺の港湾であるカットライコンテナターミナル及びタン・カン・カイメップ・インターナショナル・ターミナル（TCIT）の各施設を視察しました。今後とも、東南アジア諸港湾との連携を深めて参ります。

問い合わせ先

名古屋四日市国際港湾株式会社

営業担当部長 加塚

TEL 052-387-7580 FAX 052-387-7581